

# 謹んで新年の

# お慶びを申し上げます



大崎町長 東 靖弘

新年明けましておめでとう  
ございます。  
皆様におかれましては、ご  
家族お揃いで希望に満ちた新  
年をお迎えのこととお慶び申  
し上げますとともに、新しい  
年が皆様にとりましてご健勝  
でござ幸な一年になりますこ  
とを心からお祈りいたします。  
また、町民の皆様にはかね

てから町政に対するご理解と  
ご協力を賜り、厚くお礼申し  
上げます。

さて、昨年を振り返ってみ  
ますと、本町が町制を施行し  
てから70周年という節目の年  
にあたり、これまでの先人達  
が築き残してきた本町の自然  
や文化・歴史の素晴らしさと  
重みを改めて再認識するとと  
もに、豊富な人材等を生かし  
ながら、「ひと・もの・自然、  
調和が奏でる躍動のまち」大  
崎町の実現へ向け、その心構  
えを新たにしたところでござ  
います。

また、町民の皆様や議会の  
皆様にご理解とご協力をいた  
だきながら、行財政改革や民  
間活力の導入などを進めるこ  
とで、町財政の経営基盤強化

を図るとともに、豊かな地域  
資源を生かした「スポーツと  
観光」をキーワードに、本町  
の町政運営に努めてまいりま  
したが、「大隅スポーツ交流

拠点プロジェクト事業」のひ  
とつとして、白砂青松の環境  
を舞台に「ビーチバレー全国  
大会鹿児島県予選大会」をは  
じめ各種の大会等を実施し、  
スポーツのまち大崎町の知名  
度アップが図られたのでない  
かと思っております。

さらに、昨年7月には時間  
雨量65ミリという驚異的な集  
中豪雨により、農地や河川、  
道路・橋梁などに大きな被害  
が発生いたしました。町とし  
ましては可能な限り速やかな  
復旧作業に努めているところ  
でございますが、併せて、安

心して住める、安全な町づく  
りに向けた施策をこれまで以  
上に充実していかなければな  
らないと痛感したところでご  
ざいます。

次に、本町の大きな課題で  
あります市町村合併問題につ  
きましては、国の行財政改革  
や市町村合併の推進、さらに  
本町の行財政運営を長期的な  
展望で見据えたとき、推進す  
べきであると認識しておりま  
すし、多くの町民の方々と  
いろいろな機会でお話しする  
と、合併を望む意見が多く  
なってきたと感じており  
ました。

そこで、町民の皆様方がこ  
のことについて、どう考えて  
いらっしゃるかを確認させて  
いただくために、昨年11月に

